

UniBio Press-情報の拡大を求めて

UniBio Press 代表

社団法人日本動物学会 事務局長

永井 裕子

移動の歴史を語る

- J-STAGE bib
- BioOne xml
- WEKO pdf
- Pier Online xml

本日のテーマ

1. UniBio Press
2. なぜプラットフォームを移動したか
3. プラットフォーム移築の際の困難について

SPARC Japan 支援によるNPO法人

- 平成18年9月7日 東京都より認可されたNPO法人
- 参加学協会からの理事で理事会を構成

(定款に記載された目的)

この法人は、広く一般市民に対し、生物科学分野に関する研究成果について、より広範な利用を促すために、セミナーや電子媒体等を通じて情報交流を図り、もって日本の学術、文化の発展に寄与することを目的とする。

参加学会

- 日本哺乳類学会
- 日本哺乳卵子学会
- 日本動物学会
- 日本古生物学会
- 日本爬虫両棲類学会
- 日本鳥学会
- 日本動物分類学会(2012年より)
- 日本貝類学会(予定)

BioOneとの連携協調

- BioOneは米国Association Research Librariesの支援によって立ち上がった非営利団体
 - ⇒129の学会、団体から171のタイトル
 - ⇒BioOne.1 93, BioOne. 2 66, OA 12
 - ⇒ 35のジャーナルはUSA以外の14の国から
日本、ポーランド、スウェーデン、カナダ、ケニア、南アフリカ、スイス、ブラジル、デンマーク、イギリス、オランダ、フランス、フィンランド、中国

UniBio Press 設立の意味

- 電子ジャーナルパッケージでの図書館購読を目指す-電子ジャーナル購読料獲得へ
- ジャーナルの認知度を上げる-IFの獲得へ
- 生物系学協会の連携協調-情報共有と相互理解
- J-STAGEでのフリーアクセスからBioOne参画による購読料モデルへ

J-STAGEにおける(当時の動物学会) フリーアクセスの意味

- ジャーナルプラットフォーム周りの人材が雇用できない
- プラットフォームとは何かよくわかっていない
- 「電子化すること」のみに意欲がある。
- しかも使用料は無料！に非常な関心
- 商業出版社？
- ビジネスモデルはない

Bib とXML

- 2006年6月 bib 問題
J-STAGE データは変換できない
- 2006年7月 SPARC支援でxml作成へ
日本では、xmlをこの段階では海外と同じ価格
で作成できる所はなかった。
BioOne が提携する会社で作成
- 2006年9月21日から24日 日本動物学会島根大会
夜中に6誌のpdfなどをFTPサイトで送信した！

教訓1

- 電子ジャーナルを出版する時に、重要なことは、そのスペックをどう作成するか
- 使用するプラットフォームが要求するスペックを知る

国内図書館向けプラットフォーム

- BioOne との第一期3年間(2007-2010)は、特別に「UniBio」というパッケージを日本国内にのみ購読できるようにした。
- しかし、3年間だけという約束
- UniBio を購読している図書館のために、BioOneとは別のプラットフォームが必要となる

簡単ではない

- はじめて、データを移築する苦しみを知る
- 知っていることと、実際は違う
- XMLは手ごわい

Pier Online

- 2009年には、代理店と相談を開始
- 2011年4月には図書館へサービスを開始できるように！

- だが、難しかった

Atypon → Pub2web

- 両者とも国際標準のプラットフォームシステム
- XMLベース
- 今度こそ、何らかのソフトを使えば、簡単に！
移築はできる！と考えていた

- だが、、、、、、、、

教訓(2)

- XMLは手ごわい
- DTDは、さまざま。

WEKO に避難

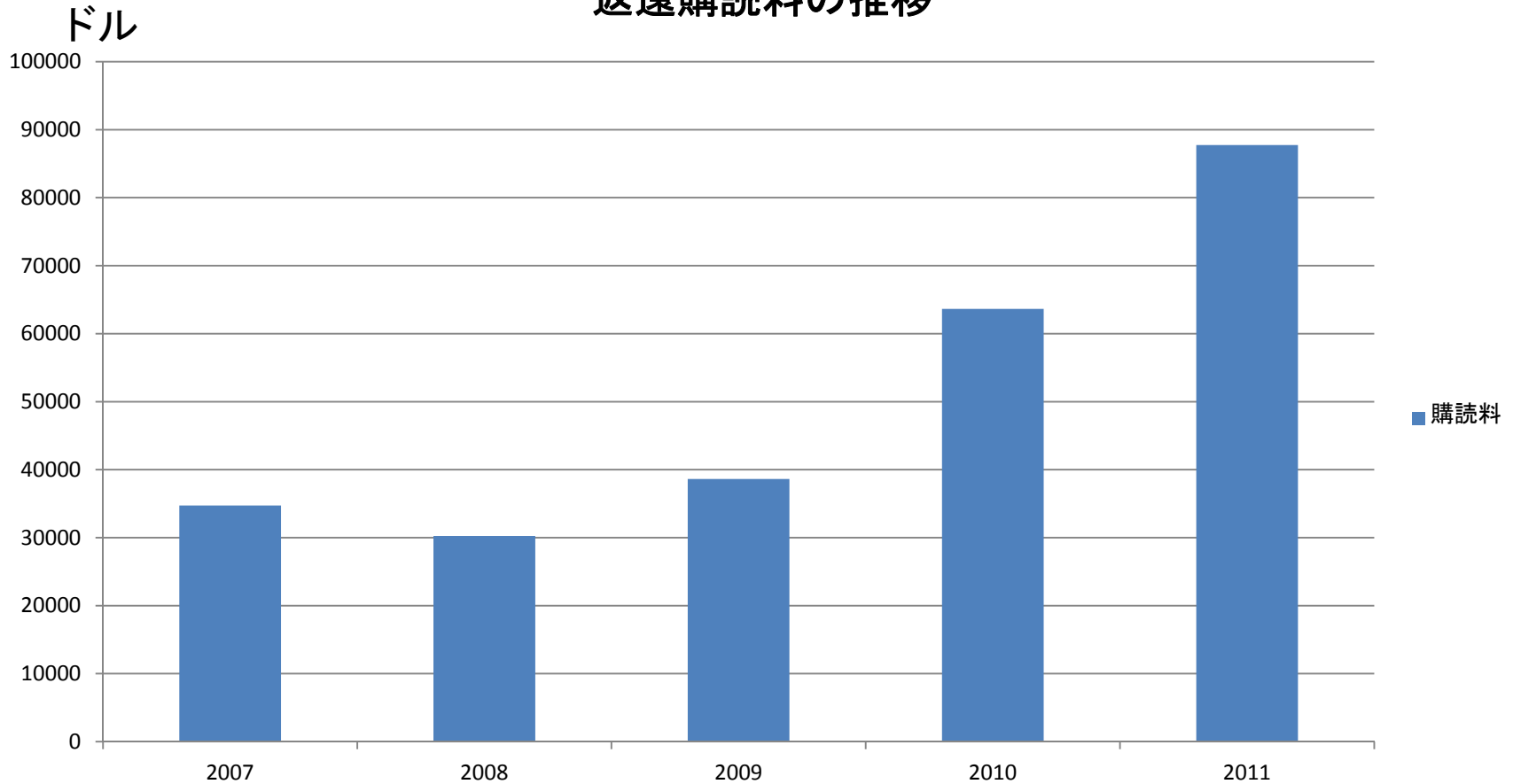
- NIIのご好意により、2011年はWEKO から国内図書館へUniBioを提供
- 上記の決断は2010年初夏には行った。図書館向け販売を行うためにはぎりぎりの決断時期であった。

目指したものは獲得できたか

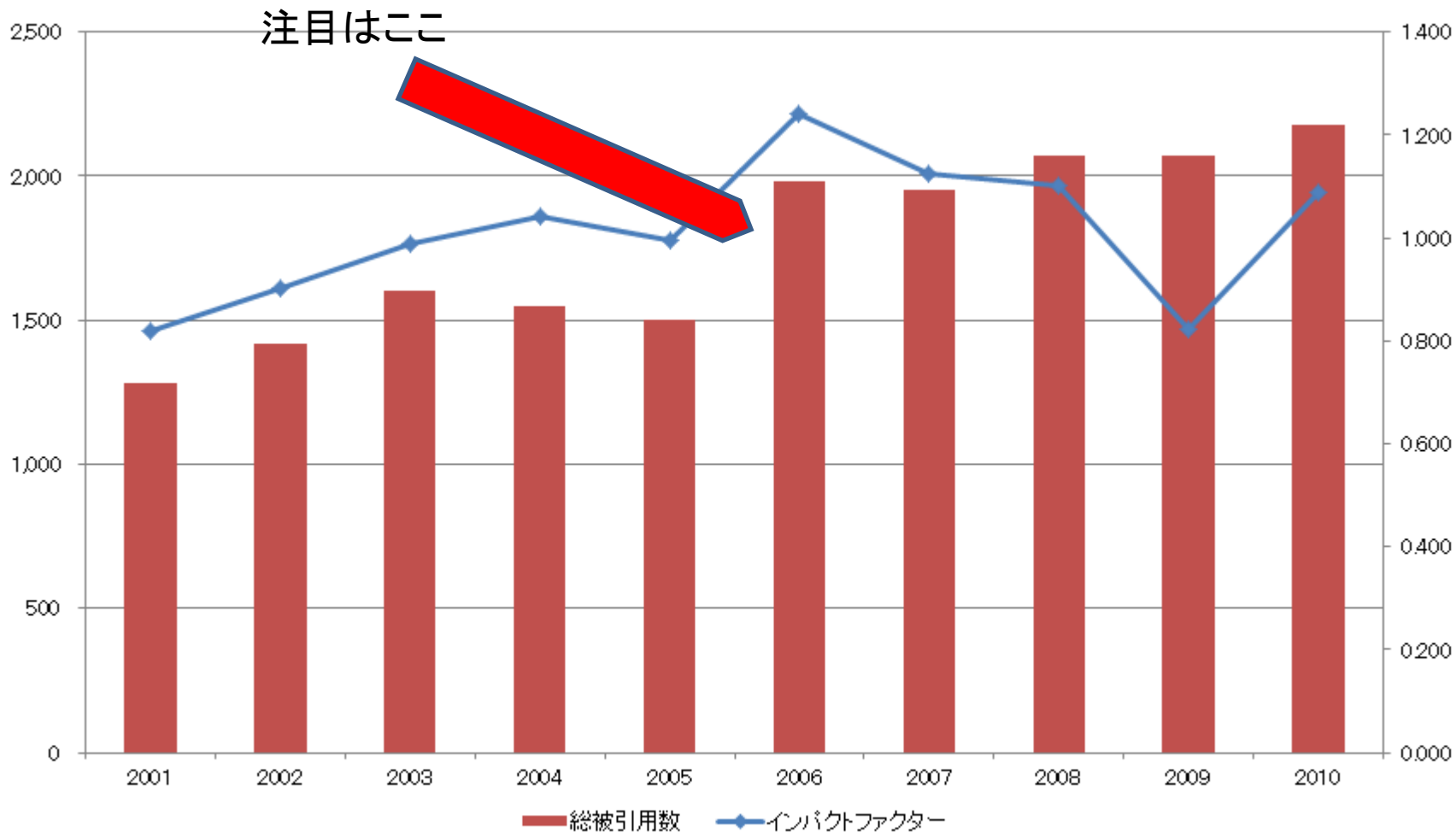
- 日本古生物学会、日本鳥学会、日本哺乳類学会、 Web of Science 収録へ

目指したものは獲得できたか

返還購読料の推移

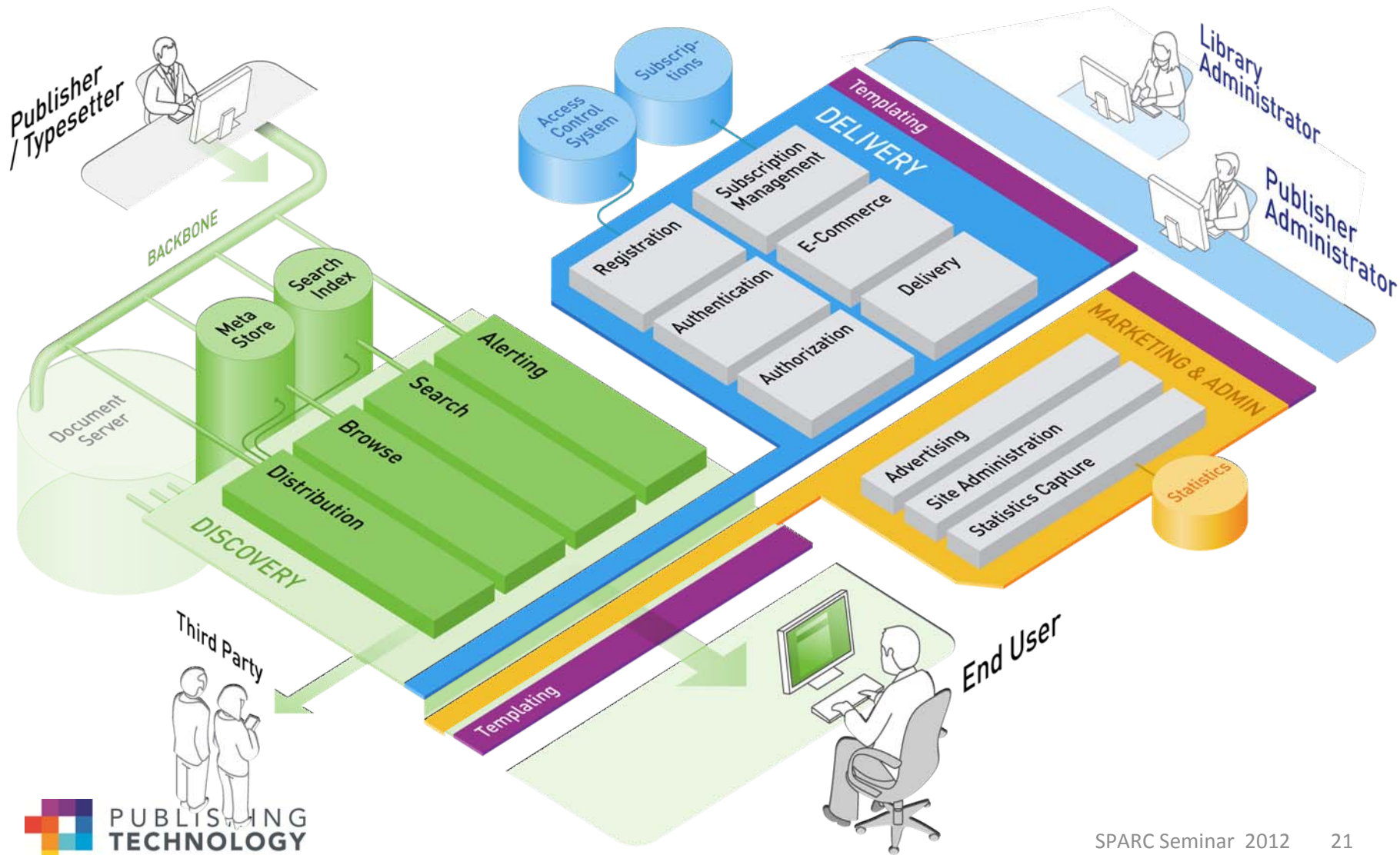


Zoological Science 総引用数

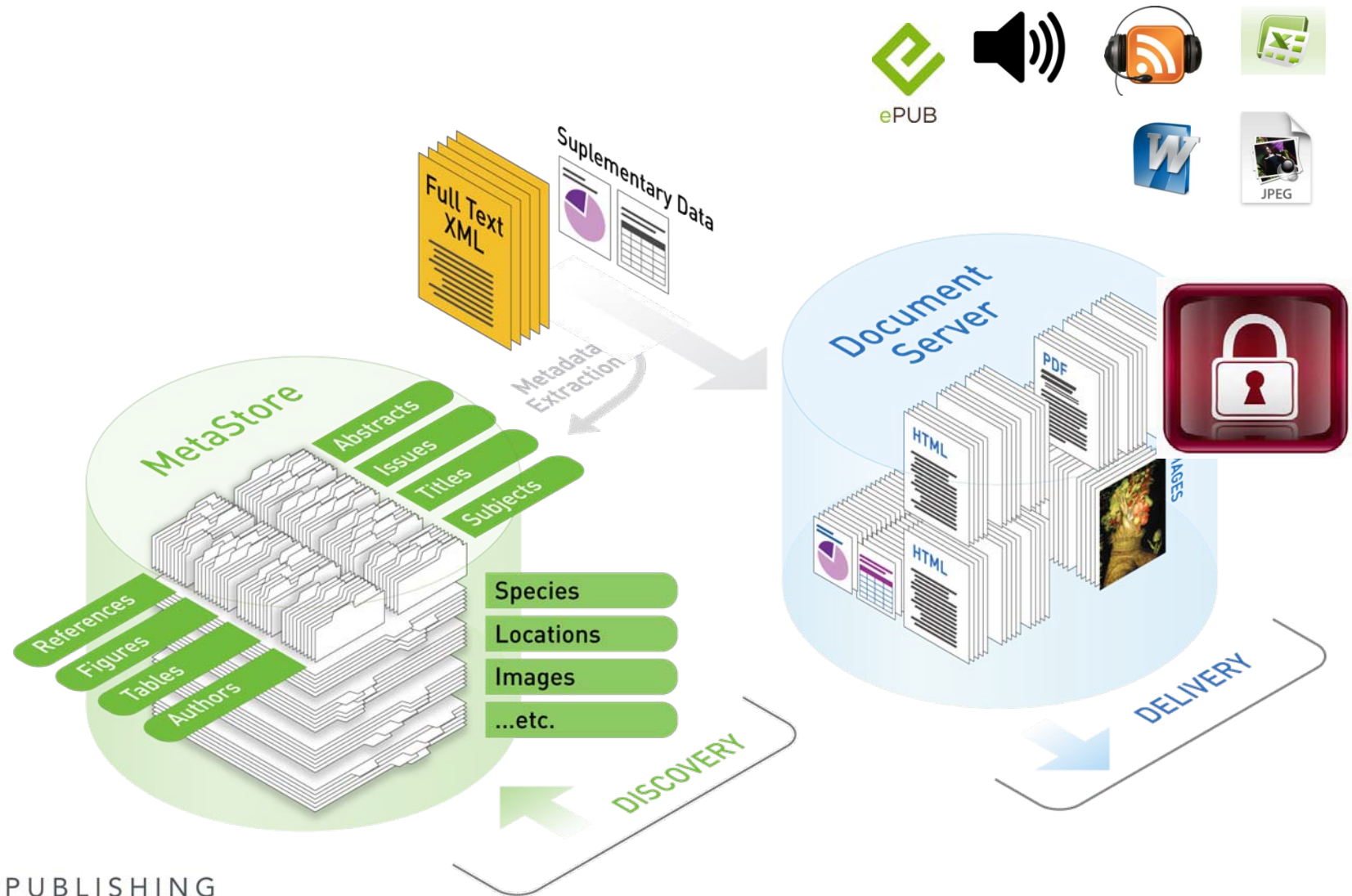


佐藤翔氏作成による
ZS引用分析(2011)

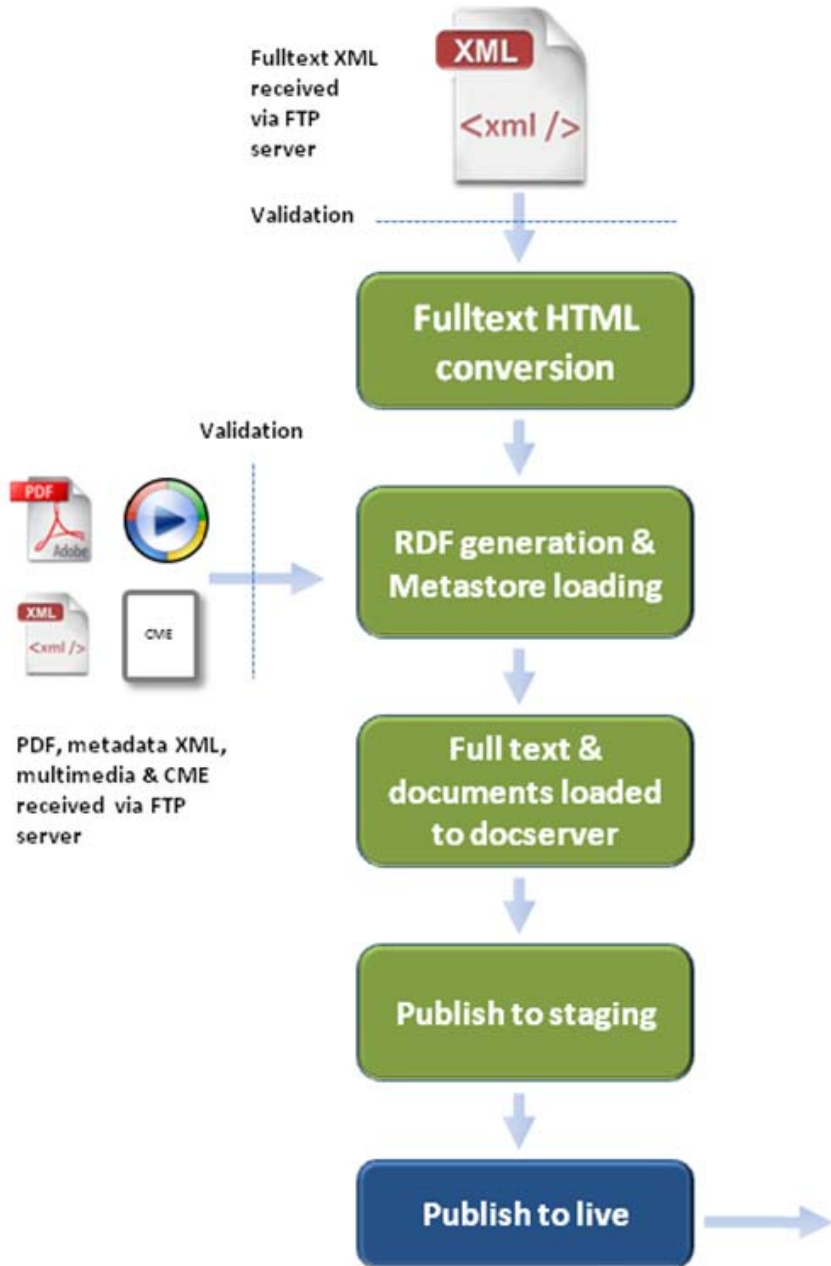
pub2web Platform Overview



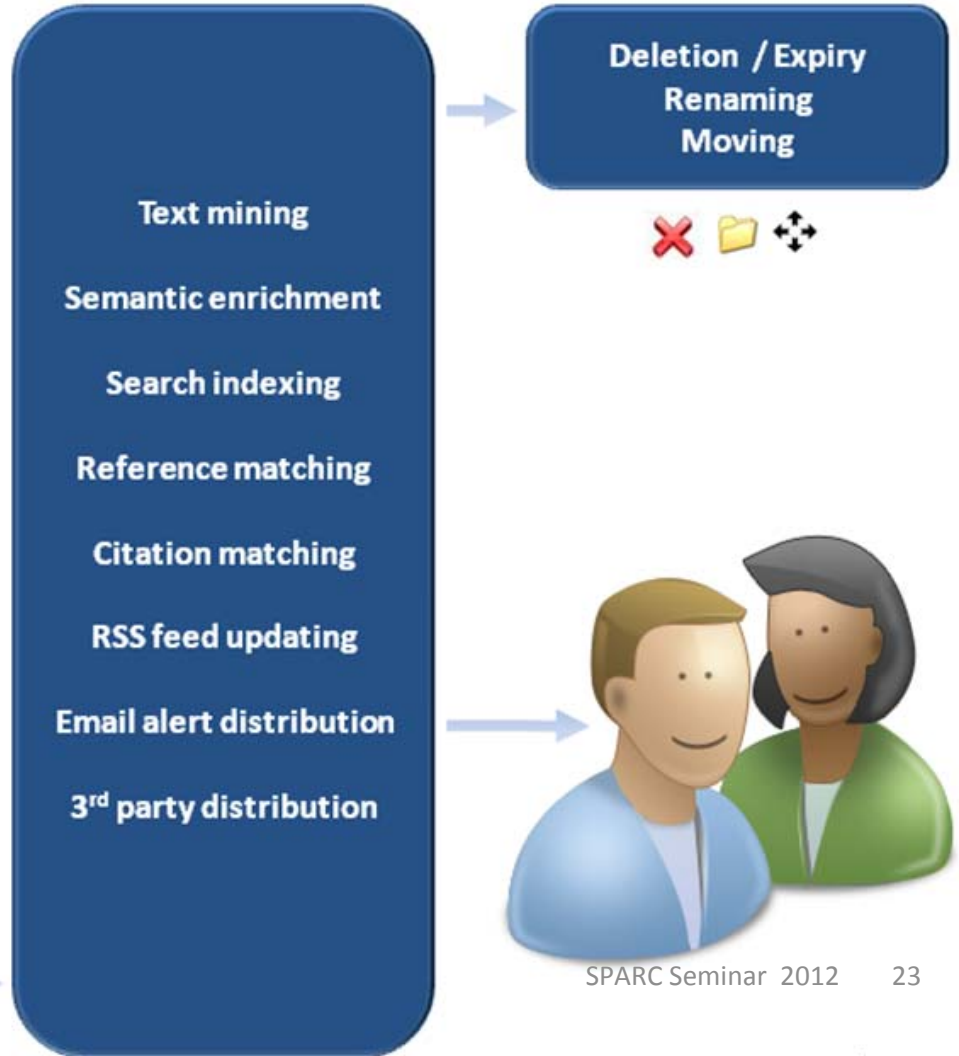
MetaStore: Driving Discovery



Workflow for Content



System workflow



Moving content from another site to pub2web

- Representative sample files to be sent to Publishing Technology for testing
- Based on sample files Publishing Technology designs the loading process for this content
- The loading process includes validation to ensure that data conforms to the DTD for the full text XML content.
- The publisher is informed of any errors in the content so that corrections can be made.

- Specific UBP issues were:
 - Variations in the DTD used, additional configuration required by Publishing Technology to support the loading of the archive content.